

# 間もなく移転・開校する広島特別支援学校

広島市立広島特別支援学校長 中尾 秀行

本校は、広島市の中心部（中区大手町四丁目）に位置し、昭和58年に小・中学部の養護学校として開校し、平成5年には高等部を開設しました。市立の唯一の特別支援学校です。児童生徒数は年々増加しており、今年度は70学級341名（5月1日現在）となっています。本校では、校舎の老朽化や児童生徒の増加による狭隘化に対応するため、平成24年9月、南区出島四丁目に移転・開校することになり、現在工事が進められています。また、今年度本校は、創立30周年を迎えました。高等部開設20周年の年でもあり、記念すべき平成24年度です。

7月末には完成し、引き渡しを終了します。8月は引越を行い、9月3日（月）は、新校舎で2学期の始業式を行います。9月7日（金）には、移転・開校並びに創立30周年記念式典を計画しています。

## 日本一の施設・設備を有する特別支援学校

総事業費、84億5千万円もの費用で完成する新しい学校は、グラウンド、農園を含む敷地面積が約2万5千㎡あり、日本一の施設・設備を有する特別支援学校となります。農園の側には、農・園芸作業室を設置します。校舎内には、普通教室72室の他、クリーニング実習室、食品加工室、接客・販売実習室など職業教育を充実させるための特別教室、スヌーズレン、生活指導室、機能訓練室など特色のある教室ができます。3階に配置する約500㎡のサポートセンターには、相談室、検査室、言語指導室、資料室等の各諸室があり、幼・小・中・高等学校の児童生徒、保護者、教職員の相談に応じていきます。屋内には体温調節が難しい児童生徒も安心して使用することができる温水プールがあります。普通教室棟の屋上には、サーキットトレーニングができる運動器具を配置し、運動場として利用できます。また、グラウンドのフィールドは芝生化し、重度重複障害のある児童生徒が安全に運動や身体活動ができるようになります。もちろん、全館、空調が整備されています。

児童生徒が主体的に活動できるよう、サインなどの視覚支援を使って校舎内を構造化しました。障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導・支援ができ、児童生徒の能力を最大限発揮することができる教育環境を整備します。本校で学ぶ児童生徒が「かっこいい」と思われるようになりたいと考えています。

